

# 関西宣教区便り

## 巻頭言 『和歌山開拓への導き』

岩出みのりチャペル 中村 忍

私は、長年お仕えする教会の整えられ恵まれた環境の中で信仰生活を送り、信仰者として養われ、牧師としても育てていただいたことを心より感謝しています。

数年前より、エレミヤに呼びかけられた主の御声がずっと耳を離れず、私にはマケドニアの叫びのようにも聞こえてきました。

「わたしがあなたを遣わすすべてのところへ行き、わたしがあなたに命じるすべてのことを語れ」(エレミヤ 1:7) このみことばに迫られ、夫婦で祈り合い、心を合わせ、教会の理解を

いただいて、2023年春の予定での転任希望を教団理事会に提出しました。

和歌山開拓については、当初は想定していませんでした。ただ、宣教区の一員として共に準備を進める中で、主の招きを感じさせるようなことがいくつもあり、徐々に導きとしての可能性を考えるようになりました。主が備えてくださったものと信じます。

教団理事会より、和歌山開拓の担当者としての祈りの要請を受けたのはそんな時でした。神様がお立てになった理事の先生方が、祈りの中で示されて提案して下さったことであるならば、私はそれを主の導きと受けとめて、喜んで従っていきたいと思います。

私のような者に何かができるなどとは思っていませんが、主が導かれるのなら、必ずや主が責任を取って祝福して下さることを信じ、働きに向かっていこうとも思っています。関西で生まれ育った私が、続けて関西の地で用いていただけるのも光栄なことですし、慣れ親しんだ関西宣教区の皆さんと宣教区レベル開拓としてご一緒に取り組んでいけることもとても感謝です。これからも、主にあつていろいろなかたちで応援していただきますように、どうぞよろしくお願い致します。



(岩出市街をバックにして)



(会堂として借りる物件は建設中です)

### 宣教区レベル開拓

#### 「岩出みのりチャペル(和歌山)」の祈祷課題

- 1) 良き協力者が与えられるように。
- 2) 地域との良い関係を築いていくことができるように。
- 3) 地域の他の教会とも良い協力関係を結んでいくことができるように。
- 4) 教会の存在が知られ、集われる方が起こされるように。
- 5) 教会を通して福音に触れ、救われる方が起こされるように。

献金先：準備中につき、後日各教会にお知らせいたします。

連絡先：iwade.minori@gmail.com

### 【和歌山開拓開始の案内】

いよいよ和歌山開拓が始まります。場所も決まり、教会名も決まり、派遣される先生も決まりました。場所は大阪府に隣接した岩出市です。和歌山で唯一人口が増加している市です。教会名は果物王国和歌山にちなんで、岩出みのりチャペルとしました。宣教区の皆様からのアイデアを総合的に判断して、開拓委員会で決定しました。派遣される先生は、松原聖書教会の伝道師であった中村先生ご夫妻です。皆様の篤い祈りで応援して下さい。

開拓伝道委員長 松田吉広（武庫之荘めぐみ教会牧師）



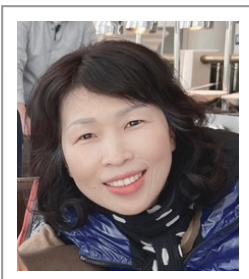
**生駒めぐみ教会 宗田 信一(そうだ しんいち)師**

**出身教会** 日本聖約キリスト教団吉備教会 **好きなみことば**「箴言3章6節」  
**趣味** スポーツ観戦（ラグビー、サッカー、野球など）、息子とのボール遊び。  
**救いの証し** 私は、幼い頃から両親に連れられ教会に通っていました。しかし、小学生の頃、同居していた父方の祖父母（＝入信前、後にふたりとも病床で受洗）が持つ仏壇にモデルガンを隠し持っていました。中学生の頃、不思議なほどに羽振りの良いクラスメイトに奢ってもらい学校の帰り道に買い食いをしていました。教会と教会の外で別の顔を持ち、自分は立派と思いながら身勝手なことをしていました。しかし、高校1年生の夏に参加したバイブルキャンプで聖書のみことばが心に刺さりました。「あなたは、兄弟の目にあるちりは見えるのに、自分の目にある梁には、なぜ気がつかないのですか」（マタイ7章3節）。イエス・キリストの十字架の死と復活によらなければ自分は救われないことを示されました。そして、イエス・キリストを救い主と信じ、洗礼を受けました。この私を罪と死から救ってくださったイエス・キリストは私の心と生活と人生に平安を与えてくださる常に真実な救い主です。 **祈祷課題** 教会の頭であられる主キリストの下で、みことばに聴き従い、みことばを語り響かせる。家族とともに生駒と奈良の魅力を見つけ、関西地方に与えられた主の恵みを楽しむ。



**松原聖書教会 川端 達哉(かわばた たつや)師**

**出身教会** 松原聖書教会 **好きなみことば**「イザヤ書55章8～11節」  
**趣味** これと言って無いので、とりあえずロードバイクを始めてみます。 **救いの証し** 仏教徒の家系に生まれましたが、母親の救いをきっかけに、私（当時小4）と姉、そして父親と順に洗礼に与りました。親族からの大迫害に遭いながらも、家族の信仰が御手の中で守られたという経験が、私の信仰の原点となっています。その後はクリスチャンホーム特有の、良くも悪しくも“無難な”信仰生活を送っていましたが、信仰の仲間との豊かな交わりや、聖書の学びを通して、少しずつ神様に対する信頼が深められ、信仰の自立へと促されていきました。社会人になり、就職や結婚、挫折を経験する中で、憐れみ深い神様のお取り扱いを経験し、生涯をかけて神様と教会に仕えていきたいという献身の思いが与えられました。 **祈祷課題** 神様が遣わされた教会を愛し、謙遜に仕え続けることが出来るようにお祈り下さい。



**播磨キリスト教会 徐 亥貞(そへじょん)師**

**出身教会** 播磨キリスト教会 **好きなみことば**「ローマ1章16節」  
**趣味** 料理、映画鑑賞。 **救いの証し** 私は小さい頃から教会は通っていましたが、学生時代に自分の罪を告白し信仰を告白することは出来ませんでした。しかし、主の憐れみと恵みによって牧師先生との聖書の学び会を通して、「実に人は心に信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです」（ローマ10章10節）という神の御言葉に触れて頂き、自分の罪を告白し、生ける神の御子イエス・キリストを自分の救い主として受け入れて洗礼に導かれました。 **祈祷課題** ①主の日の礼拝と祈祷会が祝福されるように。②伝道の道が開かれるように（家庭集会、ハンゲル講座などの個人伝道）。③中学生になる息子の学校生活が祝されるように。④家族の健康が守られるように。

委員会報告

**集会委員会**

2022年度の奉仕者研修会ではネット環境を駆使して分科会を行いました。初夏の特別講演会では久しぶりに会場に集まることができ、中澤秀一先生(東京基督教大学)が「福祉としあわせ」について、ご講演くださいました。新年聖会はネット配信のみとなりましたが、三浦陽子先生が御言葉による励ましを「言葉に尽くせない喜びに生きる」として語ってくださいました。今年度は主の御心を求めつつ会場での集会を再開していこうと考えています。

**青少年委員会**

いつも宣教区の青少年たちを覚えてお祈り頂きありがとうございました。春のチャレンジャーキャンプは、講師、キャンパー、スタッフで合計67名の参加者がありました。一日でしたが、久しぶりの対面開催となり、青年たちの賛美と老松師のメッセージに大いに恵まれました。秋のソフトボール大会は、雨で中止となりました。次年度に期待します。今後も宣教区の宝である青年たちの救いと信仰継承のためにますますのお祈りをお願い致します。

## 宣教区各教会 近況報告と祈禱課題

**生駒めぐみ教会** 47年牧会された中谷先生ご夫妻が退任され、新たに宗田信一師が主任牧師として着任しました。また4月からの礼拝を全て対面に切り替える予定です。生駒めぐみ教会の新しい歩みが祝福されるようにお祈りください。

**茨木聖書教会** 茨木聖書教会は、2023年度をクリスチャンの基本となる「主日礼拝」「月定献金」「デボーション」を大切にすることを確認し、コロナ後の信仰生活を整えつつ、歩み出そうとしています。お祈りください。

**近江聖書教会** 今年度、近江聖書教会は「使徒の教え、交わり、パン裂き、祈り」(使徒2:42)の意味を深め、教会の土台を更に固めていきます。新会堂なども視野に置いて、近江での神の国の前進を追い求めていきます。

**学園前聖書教会** ◇年間標語『キリストの希望を告白する教会』(1ペテロ3:15)の歩みが始まっています。主への礼拝をささげることが第一とされ、教会形成と宣教、教会教育と信仰継承、地域宣教の祝福のため、お祈りください。

**京都めぐみ教会** 長年の祈りであった教会墓地を取得でき感謝です。去年は出会いと別れを多く経験しました。①教会がたましいの救いと弟子づくりに一層取り組めるように②会堂の債務を滞りなく履行し、速やかに全うできるように。

**くずは聖書教会** 加藤師による兼牧体制も2年目になります。①毎主日の営みが守られ、集う者たちが霊的に養われるように②家の教会を通し、たましいの救いと弟子づくりがなされるように③今後の教会の歩みに主の導きがあるように。

**神戸恵みチャペル** 対象を狭めてではありますが、少しずつイベント・活動を再開できています。年間主題である「礼拝者として生きる(ローマ12:1)」ことの意義を御言葉によって深め、実践する共同体へと成長する一年になるように。

**高槻聖書教会** ステージを改修しました。①「信仰の目を開いて」教会の将来をイメージする訪問研修のために②「リーダーコース」を通して伝道の導き手が養成されるように③5ヶ年ビジョン(2022年承認)の共有と推進のために。

**播磨キリスト教会** コロナの中でも礼拝と集いを守ってきました。今年はより積極的に伝道していきます。①教会員が楽しい信仰生活をしていけるように②居場所がない人々が播磨を通して救いに導かれますように③高齢者と病んでいる方々が守られますように

**蛍池聖書教会** 少しずつコロナ禍前に戻りつつあり、指針「神を愛する者となる」を目標に福音宣教と教会形成に取り組んでいます。①複数牧会による良い効果②祈り合う交わりを通しての相互牧会③救われる人が起こされるように。

**松原聖書教会** 中村忍副牧師を和歌山開拓へと送り出し、新たに川端達哉伝道師を迎え、新体制による歩みを始めます。加えて、教会事務員も交代します。大きな転換点を迎えた教会の歩みが支えられ、共同牧会の業が祝福されますように。

**箕面めぐみ聖書教会** 主日礼拝、水曜祈禱会は、オンラインも継続しながら、通常に戻りつつあります。まだ全体での昼食会は行っていませんが、グループでの分かち合いや午後の集会も少しずつ再開し、交わりの機会も増えてきました。

**武庫之荘めぐみ教会** 分散礼拝を止め、4月から礼拝をコロナ前の形に戻す予定です。①子供ミニストリー、賛美集会などが再開できますように。②教会が信仰の共同体として歩めますように。③信仰の決心に至る人が起こされますように。

**大和郡山めぐみ教会** 主の恵みに支えられ歩んでいます。2023年は「深みに漕ぎ出そう」(ルカ5章4~6節)を年間テーマに、教会として新しい歩みへ踏み出したい、特に子供集会の回数を増やし、力を入れていきたいと祈り備えています。

### 関西宣教区の予定

・初夏の特別講演会	6月23日(金)	会場	茨木聖書教会	講師	大瀧恵理也師(小平聖書キリスト教会)
・講壇交換	8月20日(日)	会場	各教会		
・ソフトボール大会	10月9日(月、祝)	会場	未定		

『関西ブロック時代を振り返り…思いつくままに』

中谷 美津雄 きみ子



(長年奉仕した教会の牧師室で)

生駒めぐみ教会での 47 年の奉仕を終えて転任となりました。これまでの主の守りと、宣教区諸先生方を初め主にある兄姉の祈りと交わりを感謝致します。

私たちは、1976 年に私 26 歳、妻 23 歳で教会設立後 2 年半の生駒めぐみ教会に赴任しました。開拓者ホビー 宣教師の犠牲を惜しまない宣教の情熱が集う人たちを一つに結んでいました。

誕生間もない関西ブロックは高槻、茨木、松原、蛍池、生駒の 5 教会からなり、夫婦で集う牧師宣教師会は各教会の祈祷課題を分かち、伝道と教会成長を熱く語り合う中に、ユーモアがこぼれチャレンジが溢れて、若い私たちは毎回刺激を受けて伝道意欲を掻き立てられる実に楽しい喜びの時でした。

そんな交わりの中から連合婦人会や連合青年会、1泊2日の役員研修会、CS 教師研修会等が誕生して、諸教会の奉仕者を育てると共に、主にある兄弟姉妹の交わりの輪が教会を越えて広がり、教団意識を育てる場となりました。

関西ブロック夏期キャンプもその一つで、毎夏2泊3日で担当教会を決めて行うようになりました。生駒めぐみ教会も琵琶湖畔でのキャンプの責任を持ち皆で仕える喜びを味わえた事は感謝でした。

京都での伝道は茨木聖書教会が始めていましたが、継続困難になった時、京都に一つの同盟の教会を無くしてはならないと話し合い、理事会に訴えた結果、教団レベル開拓とされ「京都めぐみ教会」の名で再スタートし、皆の喜びはひとしおでした。

力を合わせて教会を生み出したこの経験が後の宣教区による滋賀の近江聖書教会開拓、この度の和歌山の岩出みのりチャペル開拓に繋がります。

これら尽きない恵みを糧に新しい地での宣教に向かいます。お祈り頂ければ幸いです。



(1983 年 ブロック牧師・宣教師会)



(天幕伝道の様子)

ねぎらいの言葉

宣教区長 吉田 篤 (学園前聖書教会牧師)

中谷先生には宣教区だけでなく、個人的にも豊かな交わりを通して、多くのアドバイスをいただき、とりなし祈っていただきました。特に中谷先生から提案される的確な言葉をいただくたびに、教えられ、模範とし、実践を心がけました。心から感謝いたします。生駒めぐみ教会での長きにわたる働きについて、すべてご存じの三位一体の神が、永遠の愛と恵みをもって、中谷先生ご夫妻を祝福し、これからの歩みも導かれますように心からお祈りいたします。